

2020年度 デイ・ホーム たんぽぽ事業報告（通所介護）

2020年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。
 数値に関しては、2021年3月31日の数値となっています。

1、職員数

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	備考
管理者		1名		介護職員兼務
生活相談員		1名		介護職員兼務
介護職員	1名			
看護職員			2名	
送迎ドライバー			1名	

2、利用者状況

最大利用者数	平均利用者数	平均年齢	平均介護度	営業日数	平均稼働率
20名	7.9名	82歳	1.5	243/265	39%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延べ人数	420	360	440	420	400	400	400	380	400	380	360	460	4,860
延実人数	98	93	129	163	156	161	218	205	203	148	126	214	1,914
稼働率	20%	25%	29%	39%	39%	40%	50%	54%	51%	39%	33%	47%	39%

3、事業目標

「笑顔の輪を広げよう」

・職員自ら、笑顔で接するように明るい職場づくりを心がけました。
 ・個々の利用者の出来る事を考え、仕事を提供して達成感を感じていただきました
 その結果、通い始めてから、笑顔が増え、他の施設に通っている利用者様が他の施設利用を減らして、たんぽぽに来てくださる日を増す傾向にあります。
 たんぽぽが笑顔になれる居場所となるように、職員自ら利用者様を笑顔にしていくことを意識するように次年度の事業目標も”笑顔の輪を広げよう”に致しました。

4、利用者処遇

①介護支援専門員からの情報をもとに、個人分析を行い個別計画書を作成し、個を知り個に寄り添い、個の意思を尊重し、個々に適した活動の提供を実施する。

②利用者の出来ることをきちんと把握し、自信をもって活動できるよう支援する。

・通所介護計画書を職員に説明、朝礼や職員会議で確認しあいました、また、ケアマネ、家族との情報を元に、個の意思を尊重して活動することはすべての職員に浸透し判断の基礎になっております。

・利用者確保に関しては苦戦状態が続いております。特に冬季の12月、1月に関しましては、登録者の約3分の1にあたる10人が、入院、入所などで自宅での生活が出来

なくなったりお亡くなりになったりと激減してしまいました。その中でも、サービスを開始した利用者1人1人のやりたいこと、出来ることを聞き取り、役割ありの支援を続けています。次年度は、さらに一人一人が生きがいを持ち、社会の一員として活躍出来る場を作ることで、自信を取り戻して頂く支援を継続していきます。

5、 個人情報保護、情報開示

- ①個人情報保護法に関する諸法令を遵守し保護に努める。また、利用目的を明確にし、適切に取り扱う。
- ②事業内容は、季刊発行される「たんぼぼ新聞」を通じて公開する。

フロアにて健康管理に使用していた個人情報が含まれている iPadMini を 3 月に紛失してしまいました。パスワードで保護されているとはいえ、個人情報が入ったものを 1 年以上も誰でも容易に扱えるフロアに置いていたことは、思慮が足りませんでした。情報開示に関しては、季刊発行のたんぼぼ新聞やたんぼぼニュースレターを通して、事業所の情報を公開しました。更にホームページにより情報開示を行い、事業所を知って頂く工夫を強化していきたいと思えます。

6、 健康管理

- ①利用開始時に、体温・血圧・脈を測定し、健康チェックを行う。
- ②感染症の発生や蔓延防止の為に、ホーム到着後は、うがいと手洗いの徹底と空気が乾燥する時期は、こまめに換気を行い、空気の入れ替えをする。

利用毎に毎回、体温・血圧・脈を測定し、異常値の場合は再測定の実施、ケアマネや家族への情報提供を行って来ました。入浴時には全身観察を行い、発赤や内出血の確認を行うことで、利用者の身体状態把握に努めました。手洗い及びうがいの徹底、1日3回の空気の入れ替えを実施したことで、感染症等の発生はありませんでした。新型コロナ感染症の感染拡大予防の為に、マスク着用の対応等追加し、拡大予防に努力しコロナ感染症に感染することなく休まず営業出来ました。

7、 苦情解決への取り組み

- ①苦情が発生した場合は、速やかな対応を行ない信頼の回復に努める。

1 件の苦情が発生しました。入浴を拒否された利用者様の意向で入浴しなかったことにより、ご家族様から苦情が発生しました。利用者本位のケアを心がけていますが肋骨を折って入浴したがる利用者様の意向を重視しました、清拭などによりご家族様の理解を得るなどの対応ができれば、ご家族様の理解を得られたのではないかと反省し、今後の選択肢として対応していきたいと思えます。現在、そのご家族様からは、本人様の意思を尊重して入浴を判断してよいと言うことでサービスを継続しております。

8、 防災対策について

- ①各種想定に基づく通報・防災訓練を年2回以上実施する。
- ②非常食・ラジオ・懐中電灯等の防災グッズの整備、危険場所の点検、防災器具の配置場所、使用方法の周知徹底を図る。

訓練実施内容

8月14日（金）14時～15時

参加者 18名（利用者12名、消防署職員3名、職員3名）

総合火災訓練実施

避難訓練 駐車場へ避難誘導

通報訓練 119なしで実施

消火訓練 水消火器を使用

10月13日（火）13時30分～14時

参加者 15名（利用者11名、消防署職員0名、職員4名）

総合火災訓練実施

避難訓練 駐車場へ避難誘導

通報訓練 119なしで実施

消火訓練 実施せず

9、 ボランティア活動への取り組み

①ボランティアや個人の活動を積極的に受け入れる。

②地域福祉を担う一員として、地域の活動にも積極的に参加していく。

コロナ感染症の問題によりボランティアや個人の活動は受け入れませんでした。

10、 活動・外出報告

行事名	内容
施設内活動	<ul style="list-style-type: none"> ○主な活動 ・コミュニティ新聞の折込み、配布 ・畑作業 ・収穫野菜の販売準備 ・庭掃除 ・室内掃除 ・昼食作り ・おやつ作り ・カメ、めだかの世話 ・カラオケ
外出企画	1月 稲城の神社 初詣 2月 梅祭り（府中郷土の森） 3月 花見（三沢川、稲城中央公園、多摩川、上谷戸周辺）

1 1、職員研修

- ①研修計画に基づき、内部研修や他事業所研修を実施し、知識や技術を習得する。
- ②個々のスキルアップを図る。

4月	介護職員に求められる倫理	10月	個人情報取り扱い
5月	新型コロナウイルス感染症	11月	高齢者虐待防止
6月	防災について	12月	新型コロナウイルス感染症
7月	食中毒について	1月	BPSDに着目した認知症ケア
8月	身体拘束	2月	ICFについて(事例検討)
9月	介護職のための感染対策	3月	高齢者の性と介護

1 2、考察

開設後4ヶ月でコロナ感染症により自粛が叫ばれる中、市内のデイサービスが廃業したり、休業したりと通所介護事業には厳しい環境下にありましたが、7月以降に徐々に利用者が増え10月には稼働率50%を超えるようになりました。

しかしながら、12月に2名にご利用者様のご逝去を初めとして介護度の重い利用者を中心に入院や入所、宿泊できるデイサービスに利用者が流れてしまい、2月の稼働率は33%迄

下がってしまいました。その後、ご利用者様の増回や、ご家族の事情により入所していた利用者が戻ってきてくださった結果、3月には47%迄稼働率に戻すことが出来ました。

次年度はワクチンの普及という希望もありますが、自粛の叫ばれる中、通所介護は厳しい環境下にあります。新たな利用者を獲得するには、自粛中でもデイを必要とする介護度の重い利用者も積極的に受け入れ、サービス提供時間も延長して、売り上げ拡大に努めていきたいと思っております。